

令和6年度 農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立市来農芸高等学校

1 目的

本校生徒が農業に対して興味・関心をより一層深め、農業関係機関・団体との連携を促進することで、農業先進地視察研修を通して、広い視野と知識を身に付け、将来の農業後継者としてふさわしい人間を育成し、農村社会を支える人材の確保を目的とする。

2 実施状況

(1) 1年生先進地視察研修

本県における農業の実態や農政の現状を学習し、将来新規就農者及び地域産業の担い手を育成するために、JAさつま日置北中部営農センター選果場、鹿児島県立農業大学校、有限会社フレッシュ吹上の施設を見学し、農業に関する知識を深めるとともに、就農に対する意識が向上した。



JAさつま日置北中部営農センター

(2) 2年生先進地視察研修

1年次の専門教科の実験・実習などの学習成果を踏まえ、各学科での視察研修を行った。農業科は大雪の影響により今回は延期となった。畜産科の視察先スターゼンミートプロセッサー（株）加世田工場は本校の黒豚の出荷先でもあり、自分たちが育てた豚の解体現場を直接肌で感じる事ができた。また、鹿児島県水産技術開発センターでは水産の分野についても理解を深め、鹿児島県の産業について新たな発見もあった。



スターゼン（株）加世田工場

先進地を視察することにより、高度な知識や技術を高め、日頃の授業や実習に活かすことができ進路実現に役立てている。

(3) 営農の門出を励ます会

農業大学校6名、4年制大学3名、農業関連企業への就職8名の計17名を対象に実施した。市長をはじめ、来賓の方々から激励のことばを頂き、生徒代表3名が抱負を発表し、生徒たちは決意を新たにしました。



営農の門出を励ます会

3 今後の課題、取組

本校は、在校生の約9割程度が非農家の生徒であるが、日頃の専門教科の学習や地域連携活動の成果もあり、入学してから農業に対して興味・関心が高まる生徒が多い。新聞やテレビ、ラジオ等でも多くの生徒が活躍した場面が見られた。今後も生徒のニーズを踏まえた専門性の高い学習を取り入れて、生徒の進路実現に資する研修を実施したい。